

東日本大震災 災害対策本部被害・設置状況に係る調査票

調査日：平成 23 年 4 月 22 日

自治体名	山元町	震 度	6 強
人口（震災前）	16,892 人	世帯数（震災前）	5,604 世帯
死 者 数	598 人	行方不明者数	231 人
避難所数	7 箇所	避難者数	2,050 人

庁舎並びに被害状況写真の位置図



被害状況の写真 1



山下駅周辺（奥に山下駅のホームがある。ホームの上にも車が流されている）

被害状況の写真 2



坂元駅近くにある燃料店（コンクリートの外壁が残された他はいずれも津波で流された）

庁舎の写真 1



庁舎玄関（外観の被害はみられなかった）

庁舎の写真 2



庁舎横では火を起こしている様子がみられた

庁舎の写真 3



庁舎前の駐車場（つねにほぼ満車の状態）

庁舎の写真 4



玄関前の掲示板

庁舎の状況

□庁舎は昭和 48 年築。地震によりトイレが使用不能となり、仮設トイレが設置されていた。断水はしていない(手洗いのための水は蛇口から出ていた)。

本部室の写真 1



当日から数日間の予定を記載した黒板

本部室の写真 2



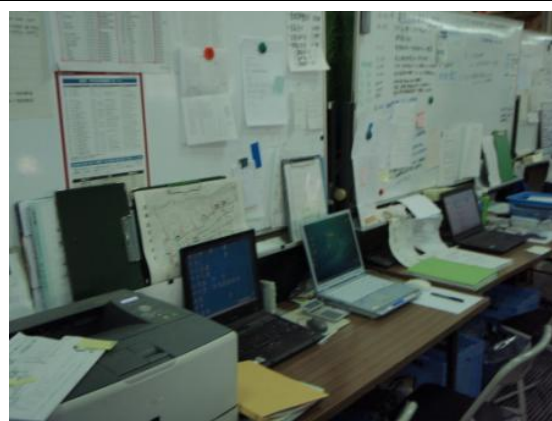
災害対策本部室のデスク

本部室の写真 3



自衛隊が詰めているスペース

本部室の写真 4



壁際にホワイトボードとコンピュータが並ぶ

本部室の状況

- 本部室の位置は、庁舎玄関のすぐ右側にある。庁舎玄関近くに本部長、町職員、近隣市の応援職員が詰めている。庁舎玄関から遠い側に、自衛隊が詰めている。
- 壁側に、被災状況等を記載するホワイトボードとコンピュータが配置されている。

その他、特筆すべき事項

- 調査時、庁舎のすぐそばで炊き出しが行われていた。庁舎に隣接する施設が避難所となっているようであった。
- 市職員や消防職団員も被災したことから、角田市、柴田町等応援協定締結市から 10 名の応援を得、北海道伊達市など姉妹都市から 8 名の応援を得ている（4 / 2 1 現在）。

(注 1) 調査票の各項目に関する出典は、以下のとおり。

人口（震災前）：全国市町村要覧 平成 22 年版

世帯数（震災前）：全国市町村要覧 平成 22 年版

死者数：消防庁被害報第 100 報（平成 23 年 4 月 11 日 11 時時点）

行方不明者数：消防庁被害報第 100 報（平成 23 年 4 月 11 日 11 時時点）

避難所数：宮城県 東日本大震災における被害等状況資料（平成 23 年 4 月 11 日 19 時時点）

避難者数：宮城県 東日本大震災における被害等状況資料（平成 23 年 4 月 11 日 19 時時点）

位置図：背景地図は「電子国土」（国土地理院）より抜粋

(注 2) 「震度」については、気象庁平成 23 年 3 月 30 日報道発表資料（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」により各地で観測された震度について）による（一部の震度観測点については精査継続中となっている）。